

## ➤ 15日 火曜

### ホセア

12:1 エフライムは風を飼い、一日中、東風の後を追う。重ねるのは虚偽と暴行。アッシリアと契約を結び、エジプトに油を送る。

12:2 【主】には、ユダに対して言い分がある。主は、生き方に応じてヤコブを罰し、行いに応じて彼に報いる。

12:3 ヤコブは母の胎で兄のかかとをつかみ、その力で神と争った。

12:4 御使いと格闘して勝ったが、泣いてこれに願った。ベテルでは神に出会い、神はそこで彼に語りかけた。

12:5 【主】は万軍の神。その呼び名は【主】。

12:6 あなたは、あなたの神に立ち返り、誠実と公正を守り、絶えずあなたの神を待ち望め。

12:7 商人は手に欺きの秤を持ち、虐げることがを好む。

12:8 エフライムは言った。「確かに私は富んでいる。私には力がある。私のすべての勤労の実があれば、私のうちに、罪となる不義は見つからない。」

12:9 「しかしわたしは、エジプトの地にいたときから、あなたの神、【主】である。例祭の日のように、再びあなたを天幕に住ませる。

12:10 わたしは預言者たちに語ってきた。わたしが多くの幻を示し、預言者たちによってたとえを示したのだ。」

12:11 ギルアデは不法そのもの。いや、彼らはむなしなものとなった。ギルガルで雄牛が献げられたが、その祭壇も、畑の畝の石くれの山になる。

12:12 ヤコブはアラムの地に逃げて行き、イスラエルは妻を迎えるために働いた。妻を迎



えるために羊の番をした。

12:13 【主】は一人の預言者によって、イスラエルをエジプトから連れ上り、一人の預言者によって、これを守られた。

12:14 エフライムは主の激しい怒りを引き起こした。彼の主は、その血の責任を彼の上に下し、彼のそしりに報いを返される。

イスラエルは神にではなく、エジプトに守りを求めました。しかしエジプトは主の前には不安定な存在でしかありませんでした。このように人間的なものに頼るのは、不安定なのです。

ヤコブは人間的には目先が利く能力を持っていましたが、それも破綻してしまいました。最後は自分の力を捨てて、主により頼んだのです。私たちもヤコブに倣って、自分の力や分析に頼ることから、主に頼るものに変わりましょう。特に人を頼ったり恐れることで、偶像と関わっているなら、神様を信じて方向転換しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

